

2. 各登山道の現況及び危険箇所把握

ウペペサンケ山	・・・1
ニペソツ山	・・・2
石狩岳	・・・7
音更山	・・・8
西クマネシリ岳、天宝山	・・・9

各登山道の現況及び危険箇所把握

平成15年10月31日現在

1.ウペペサンケ山（第二登山口より糠平コース）

*現況～本年度整備が行われており歩き易い。

*危険箇所～地図ポイント10.11地点が危険と思われる箇所

ポイント10・・・糠平富士より本峰間、標高1,840m地点

やせ尾根のため、雪のある時期に滑落の危険



ポイント11・・・標高1,600mから糠平富士間

春の残雪期に滑落の危険



2.ニペソツ山

* 現況

杉沢コース～上士幌町山岳地域で最も入山者が多いコース。急激な利用増のため、登山道拡幅などの問題が起きている。過去の迷ってできた道が踏み跡となり、迷い込むケースもおきている。本年度より、地元NPOがその防止も兼ねてロープ張りをやっている。

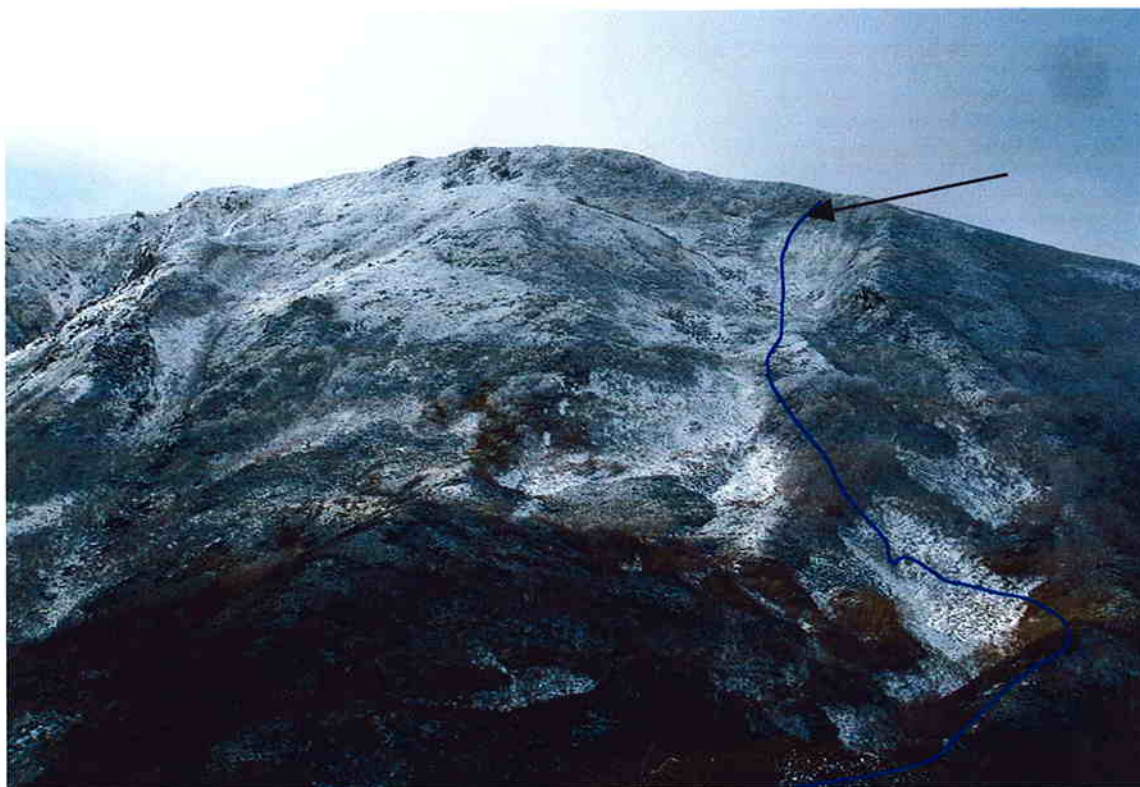
天狗平
標高1,850m付近



前天狗の南側岩塊地 標高1,800m付近



幌加コース～幌加温泉町道分岐から約2km地点(標高830m)まで林道進入可能。
そこから古い作業道が交錯していて、登山道に入るまでの間に迷うことが多いようだ。登山道は平成14年度に整備が行われている。
1,662m小ピークより1,800m間にはハイマツがかぶさり気味。
1,800mより主稜線に出る間にロープが張ってあるが、老朽化している。



1,662m小ピークより主稜線を見る。

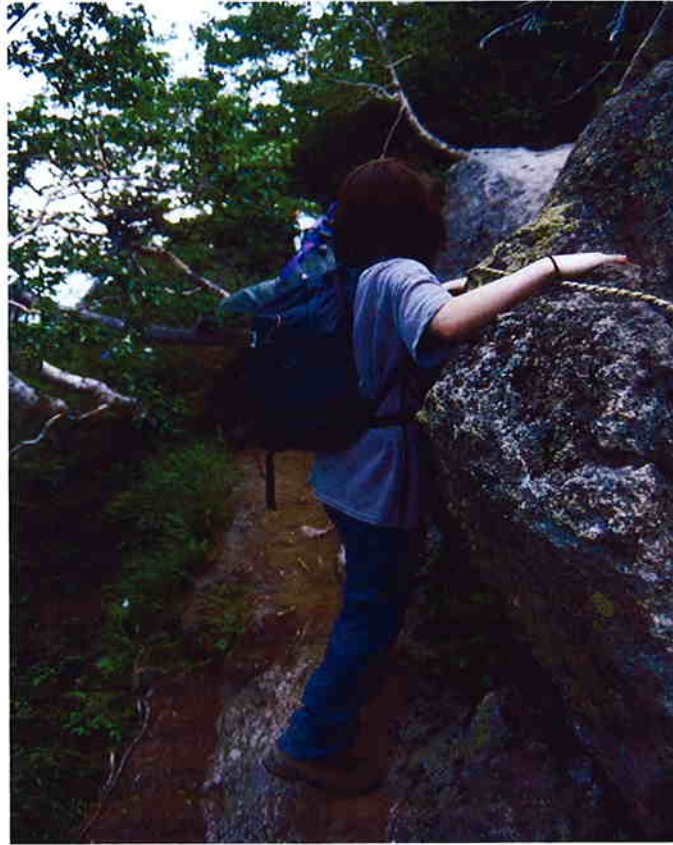
*危険箇所(幌加コース)～地図ポイント12

ポイント12(上写真矢印部)・・・標高1,800m地点 ロープの老朽化。

*危険箇所（杉沢コース）～地図ポイント13.14

ポイント13・・・小天狗の岩場 標高1,650m地点

転落の場合、5m下の樹林帯まで転落。



ポイント14・・・天狗の科尔 標高1,600m地点

残雪期には登山道が隠れていて、ルート見失う危険。

